

郷土資料館 収蔵品紹介 98

大戸

大戸は家の出入り口の大きな板戸で、一部に小さな潜り戸が付けられています。もともと半間(約九十センチ)より幅の大きい戸を示す言葉でした。

大戸は開け閉めするのが大変なので、ふだんは潜り戸を使って、大きな荷物を運ぶときなどにだけ使いました。防犯の目的もあったようです。

板戸は木製の板を張った建具で、家の出入り口だけではなく室内を区切るのにも使われました。板戸は左右に開閉する引き戸のイメージがありますが、法隆寺金堂の出入り口の板戸は開き戸(手前や奥に開く現代のドアのような戸)です。引き戸タイプの板戸は平安時代後半に初めて使われ、開け閉めが省スペースで楽にできる画期的な建具として、またたく間に広まりました。

板戸は障子や襖とともに、長い間和風建築に欠かせない建具でしたが、最近では洋風のドアやアルミサッシが広まり、昔ながらの板戸を使うことが少なくなってきました。



坂祝町郷土資料館は四月一日(金)から移設準備のため休館しています。

広報文芸

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

信濃路は卯の花腐し旅二日  
若葉雨日課愈り一日過ぐ  
田起しや隅に迫はれし名無し草  
しなやかに一心の青今年竹  
遠山の裾に広がる麦の秋  
はつなつの山路歩けば木の香り  
寂として輝く四方の深みどり  
夏来たる整理箆筒の彩あふる  
卯の花腐し街並の風情かな  
言葉みな風と散りゆく余花の駅  
白もまた燃ゆる色なり白牡丹  
晶子の忌蓄薇色濃きは濡れやすし  
吹くほどに深まるみどり青葉風

故 故 故  
長瀬 長瀬 長瀬  
田口 田口 田口  
孝和 孝和 孝和

故 故 故  
長瀬 長瀬 長瀬  
岡本 岡本 岡本  
憲子 憲子 憲子  
兼松 兼松 兼松  
禎子 禎子 禎子  
ほぎ子

坂祝町の情報をお届けしています!



さかほぎちゅう!  
パーソナリティ: 小栗かおる  
毎月第三火曜日  
18時~18時20分

次回ゲストは、栄公不動産さんです。  
お楽しみに!

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。  
FMららアプリダウンロード QRコードはこちら。



7月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・水・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。



不燃ごみ等収集日 26日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。  
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 17日(日)

時間: 8時~10時  
場所: 町内各自治会公民館  
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池

おくやみ

古賀 幸子 様(酒倉)	長瀬 静子 様(酒倉)	丹羽 哲 様(深萱)	小島 美穂子 様(勝山)
76歳	84歳	86歳	63歳